

《共通基礎科目 英語科目》

科目名	英語 I				
担当者氏名	ビル ロッケンバッハ、山田 正人				
授業方法	講義	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 英語-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎ 英語-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

異文化を背景とする人とのコミュニケーションには、「使用言語の正確な文法」と「コミュニケーションにおける文化の働き」の理解が必要である。前者では概要や要点を正確に伝え、正確に受け取れる最小限の文法、後者では伝える側はその文化の様式に従い、解釈側は自己の様式で行う傾向のため誤解を生む危険があることを学ぶ。入学時の英語力でクラスを分け、各々に合う方法で文法力育成を主とし、文化の働きを理解させる。

《授業の到達目標》

文化的背景を意識・理解しながら基礎的なレベルでのコミュニケーションができる英語力を身につける。

《テキスト》

毎回、授業でプリントを配布する。授業で使用したプリント教材をもとに試験を実施する。

《参考図書》

相羽 千州子。「Hello, English: English for Teachers of Children (子どもに教える先生のための英語—会話から授業まで)」。成美堂出版。(ISBN-10: 4791947975 ; ISBN-13: 978-4791947973)
 そして、その都度、必要に応じて指示する。

《授業時間外学習》

授業内容を事前に目を通し、わからない単語などを辞書などで調べておく。授業が終わってから、その内容を復習し、わからないところがあれば、それをメモにし、次の授業でそれについて聞くことが望ましい。

《成績評価の方法》

- ・ 授業への参加姿勢 (出席回数・・・受験資格の決定: 受講態度・・・20%)
- ・ 平常点 (小テスト、提出物)・・・40%
- ・ 期末テスト・・・40%

《備考 (教員経験の有無)》

注: シラバスは進行により変更を加えることがある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	Introduction	中学校レベル: 授業内容説明 (セメスター計画、評価方法について、授業のルーティン、使用教材など)。フォニックスと英単語a、Talking Match (以下「TM」) などの説
2	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	帯活動: Talking Match 1 でBasic English をマスターしよう。単語bで、発音とつづりの確認。小テスト: 単語aについて、TM1の確認テスト《今学んだことをすぐテスト》
3	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	帯活動: Talking Match 2 でBasic English をマスターしよう。単語cで、発音とつづりの確認。小テスト: 単語bについて、TM2の確認テスト
4	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	帯活動: Talking Match 3 でBasic English をマスターしよう。単語e、fで、発音とつづりの確認。小テスト: 単語cについて、TM3の確認テスト。(以下で似た授業内活動)
5	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
6	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
7	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
8	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
9	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
10	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
11	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
12	英文法と基礎単語の (中学校のレベル) 復習	TM、単語の練習、など
13	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、など
14	英文法と基礎単語の復習 (中学校のレベル)	TM、単語の練習、演習
15	総括	まとめ、振り返り